

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー



9期連続受賞

2018年度《特別優秀賞・特別優秀企業賞》W受賞



ヤマト住建は、この度、一般財団法人日本地域開発センターが主催する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018」において、特別優秀賞と優秀企業賞を同時受賞いたしました。

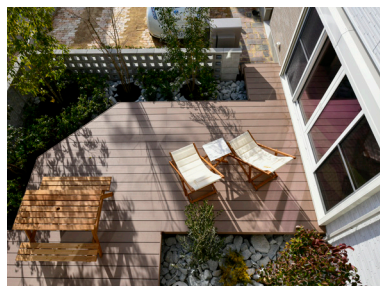
ヤマト住建は2009年度の初参加以来、毎年受賞を続け今年度で9期連続での受賞となります。



省エネ・高気密・高断熱住宅の普及やZEH促進への取り組みが高く評価されました。

受賞商品である「エネージュ UW-B」は、太陽光発電システムと蓄電池により電気の自給自足を行うとともに、全館空調システム（YUCACO）の搭載、高気密・高断熱化による省エネルギー性能を高めた、ゼロエネルギー住宅を実現しています。（UA値：0.27 [W/m²・K]）

また、コスト面でも消費者の負担を低減しており、省エネ・高性能住宅の普及においても高く評価されています。



※写真・パースは当社施工例です。

受賞商品	「エネージュUW-B」	主催	一般財団法人日本地域開発センター
受賞名	ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018 特別優秀賞・特別優秀企業賞	表彰日	2019年3月25日

《ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー概要》



建物躯体とエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能の優れた住宅を表彰し、さらなる省エネルギーによる環境負荷削減の推進と快適な住まいの実現に貢献することを目指しています。

【評価の視点】

- [視点1] 外皮・設備の省エネルギー性能値 [視点2] 多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性 その他の取り組み
 [視点3] 省エネルギー住宅の普及への取り組み